学校だより

志高く

学校教育目標
正しい判断力と
たくましい実践力をもった
優しい生徒

発行　熊谷市立熊谷東中学校
電話　048(521)0066
令和８年１１月４日
第７号

本との出会いが広げる未来

校長　　吉田　順一



皆さんは最近、本を読んでいますか。 左の写真は、図書室の様子です。図書室には、数多くの書籍が所蔵されており、図書委員会では、少しでも多くの皆さんに本を手に取ってもらおうと、おすすめの本を紹介する POP を作成し、掲示しています。毎朝の朝読書の時間に読む、自分に合った一冊をぜひ見つけてみてください。

私が皆さんと同じ中学生だった頃、宗田理さんの『ぼくらシリーズ』に夢中になりました。きっかけは映画『ぼくらの７日間戦争』との出会いでした。ところが原作を読んでみると、映画では描かれなかった主人公たちの葛藤や成長、仲間との強い絆が丁寧に描かれており、すっかり作品の世界に引き込まれました。それ以来、新刊が出るたびに本屋へ足を運び、主人公たちと一緒に冒険しているような気持ちで読んだことを今でも覚えています。

『ぼくらシリーズ』には、仲間と力を合わせて困難に立ち向かい、自らの知恵と勇気で道を切り開いていく姿が描かれています。読み進めるうちに、「自分だったらどうするだろう」「本当に大切なことは何だろう」と考えさせられる場面が数多くありました。**本を開けば、自分では経験できない出来事を追体験し、多様な考え方や生き方に触れることができます。**



また、熊谷市では「4つの実践」と「3減運動」に取り組んでいます。SNS や動画を見る時間を減らし、本を読みながら自分の心と向き合ってみましょう。

読書は、登場人物に共感したり、感動したり、ときには反発したりする中で、私たちに知らない世界を教えてくれるだけでなく、自分自身を見つめ直すきっかけも与えてくれます。また、「なぜその行動を取ったのだろう」と考えることは、思考力や想像力を高めます。そして、その想像力は日常生活にも生かされます。相手がどのような気持ちでいるのかを考えたり、自分の言葉が相手にどう伝わるのかを想像したりする力は、よりよい人間関係を築くために欠かせません。**読書を通して育まれる想像力は、人を思いやり、相手の立場に立って考える力へとつながっていくのです。**



また、本を読むことで語彙が増え、文章を読み取る力や自分の考えを表現する力も身に付きます。これは授業や作文だけでなく、高校入試にもつながる大切な力です。問題文を正しく理解する力、自分の考えをまとめる力、面接で相手に分かりやすく伝える力は、一朝一夕に身に付くものではありません。日頃の読書の積み重ねが、その土台となります。

10 月 27 日から 11 月 9 日までの 2 週間は「読書週間」です。本との出会いは、人との出会いと同じように人生を豊かにしてくれます。ぜひこの機会に一冊の本を手に取り、その世界にじっくり浸ってみてください。その一冊が、皆さんの世界を広げ、未来の自分を支える大切な財産になることを願っています。

人権教育の研究発表会を行いました








本校では、「生徒が毎日通いたい学校」「生徒が互いに高め合える学校」を目指して研究を進めております。その研究発表会が10月30日に行われ、市内から100名を超える先生方が来校しました。

今後も、「子供たちにとって何がベター」を判断基準に、よりよい学校を目指してまいります。

あかちゃんとのふれあい体験（3年家庭科）






3年生の家庭科の授業で、「赤ちゃんとのふれあい体験」を行いました。

生徒たちは、赤ちゃんの笑顔や愛らしい姿に癒されながら、自分たちが赤ちゃんだった頃に思いを巡らせていました。また、お母さん方から子育ての苦労や喜びについて話を聞き、多くの愛情に支えられて成長してきたことを改めて感じていました。

命の尊さや家族への感謝について考える、大変有意義な学習となりました。

新しい生徒会執行部・新専門委員長・学級委員の任命式






後期となり、新しい生徒会本部役員、専門委員会委員長、学級委員が任命されました。

学校をよりよくするためには、リーダーの力だけではなく、生徒皆さんの協力が欠かせません。任命された皆さんには仲間の声に耳を傾けながら力を発揮し、全校生徒にはその活動をしっかりと支えてくれることを期待しています。

救助袋の確認

救助袋を地上まで下ろし、職員が実際に避難しました。袋内は、らせん状になっており、ゆっくりと避難することができます。非常時には命を最優先に、状況に応じて救助袋の活用も含めた避難対応を行います。





